

妙円寺が初優勝 女子は南部が制す

ソフトボール 県ちびっこ大会

第8回鹿児島県ちびっこソフトボール大会 一般部と女子部の部のソフトボール大会 鹿児島県銀行、N14西



日本鹿児島支店特別協賛 最終日は21日、霧島の春山緑地公園で一般の部と女子の部の決勝までがあった。一般決勝は、妙円寺1対4で下し、初優勝を挙げた。

▽優勝	妙円寺 0000000123
▽準優勝	山崎 0000000123
▽3位	山崎 0000000123
▽4位	山崎 0000000123
▽5位	山崎 0000000123
▽6位	山崎 0000000123
▽7位	山崎 0000000123
▽8位	山崎 0000000123
▽9位	山崎 0000000123
▽10位	山崎 0000000123

16奪三振と好投した南部の野添 咲一春山緑地公園(南正和撮影)



野添咲16K 初V導く

○女子の南部は、野添咲が分なでと云い聞かせ、16奪三振の好投を見せ、チームを初優勝に導いた。立石浩一付けた投球で要所を締め、四回監督は「本日にふけてくれた1失点のみを期した。エースの力投に投手陣も応えた。一回には下田の二塁打を皮切りに犠打と敵失で3点を奪い、試合の主導権を握った。捕手の福水衣は「みんな息の合った相手攻撃で、得意圏に走ったプレーができた」と満足そそ者を背負う場面もあったが、自うだった。(高橋まゆり)

女子・南部

「準決勝は初回に点を取られたが、こちらもゼロでは終わらず最後まで粘った。苦しい場面でも、みんな投手を助けて乗り越えられたのも良かった」

決勝進出は自信 始良チエリス・福 蘭妃嘉菜 主将(女子の部) お父さん、一緒に戦って楽しかった

ピンチしのぎ「最高」

一般・妙円寺

○白旗地区勢同士の対決となった一般の部決勝は、妙円寺田が突振り三振、続く打者を内野に打ち、延長九回までも直球を軸にゴロを突き、最高のピッチングができた。高の表情を浮かべた。エースの無難に加え、野手の働きも大きかった。一塁手・井上は軽いフットワークを見せて、要所で好守備を披露。捕手の内田順は盗塁を察して援護した。背も務める内田順は、全員が全力を出し切れたと初優勝の喜びを語り、初優勝を許した。最後は晴れやかな表情を見せた。



「優勝した」と思っていた。勝負の世界は簡単に勝たせてくれないし、少しの間で負けると知った。監督はお父さん、一緒に戦って楽しかった

「準決勝は初回に点を取られたが、こちらもゼロでは終わらず最後まで粘った。苦しい場面でも、みんな投手を助けて乗り越えられたのも良かった」

第48回大会(2022年) 南日本新聞掲載紙面

4回表大始良無死、飯塚が中越え本塁打を放つ
＝田崎多目的運動広場（清水裕貴撮影）



大始良 投打で「百点満点」

○：好投手向ふ力を発揮した
一般の部決勝、見えたのは、打撃に自信を持って大始良だった。主戦の一撃でリードを奪い、2-0で快勝。飯塚主将は「大始良の打撃はどこにも負けない。果ては百点満点の出来」と喜んだ。

試合が始まったのは四回。無死から、3番飯塚が初球の甘い球を捉えてフェンス越えの本塁打を放った。久しぶりにいい感触だったと振り返る。五回は四球を足掛かりに1点を奪取。エース内村は手エンジアップをうまく使って、13三振を奪った。

準決勝までの6試合で、1試合平均6・16得点の強力打撃。決勝では、今季6戦未勝利の東車良から白星を挙げた。飯塚監督は「最後の県大会は150点、いや200点の戦いぶりだった」と選手をたたえた。（今村浩太郎）

協力して点取れた

大根占・小島賢佑主将
（延長十回タイブレークで敗れ一般の部・3位）
「みんなで協力して点を取り準決勝まで来られた。決勝に進めず悔しいけど力は出し切った。投手の川崎は全力投球した。県で一番のエースだと思う」

全力出し悔いなし

汐見・福田夕大主将（一般の部3位）
「三回に、中継プレーで三塁打をアウトにできたのは良かった。全力を出したので悔いはない。打撃練習では、保護者やコーチが自分たちが納得するまで投げてくれた。感謝したい」

父のノックに感謝

谷山・中園理智主将（女子の部・準優勝）
「楽しく、生き生きとプレーできた。みんなで流れをつくり、バントも出たので良かった。自主練習の時、ノックを打ってくれたお父さんに感謝している」

大会	対戦相手	結果	得点	打点	打率	三振	四球	失点	失点率
第49回大会	東大	勝利	2	2	0.200	13	0	0	0.000
第49回大会	東大	勝利	2	2	0.200	13	0	0	0.000
第49回大会	東大	勝利	2	2	0.200	13	0	0	0.000
第49回大会	東大	勝利	2	2	0.200	13	0	0	0.000
第49回大会	東大	勝利	2	2	0.200	13	0	0	0.000
第49回大会	東大	勝利	2	2	0.200	13	0	0	0.000
第49回大会	東大	勝利	2	2	0.200	13	0	0	0.000
第49回大会	東大	勝利	2	2	0.200	13	0	0	0.000
第49回大会	東大	勝利	2	2	0.200	13	0	0	0.000
第49回大会	東大	勝利	2	2	0.200	13	0	0	0.000

○：女子はメンバー内角直球もキレがあり、捕手の左手がはげやさず初の頂点に立った。大黒柱は6年生バツテリ。エースは連続完封と実力を発揮。捕手の西は先制打を放ち得点を果たした。

制球力が抜群の本村は、この日も魅せた。二、三塁の好機、燃え

た西矢は、直球を左前にしよと満んだ。飯塚主将は「チームがまとまったチームで、1年生もいてベンチは和やかな雰囲気。池之下は「6年生がウレシくないのやうれしい」と喜んだ。（永山一樹）

大始良9年ぶり優勝

女子は東部が初制覇

ソフトボール 県ちびっこ大会
第49回鹿児島県ちびっこソフトボール大会
（県ソフトボールスポーツ少年団連絡協議会、南日本新聞社主催）
鹿児島県銀行、N.T.西日本鹿児島支店特別協賛、森重業グループ協賛

勝：女子の部決勝は東部が谷山を3-0で下し、初の頂点に立った。初回の頂点に立った。飯塚主将は「大始良の打撃はどこにも負けない。果ては百点満点の出来」と喜んだ。

女子エース飯塚
○：準決勝まで6試合無失点の東車良が決勝でも堂々の戦いを見せた。先発唯一の女子エースの水田は、2



一般の部でチームを優勝に導いた東車良のエース水田
（清水裕貴撮影）

失点したが、三振の活躍。本島監督は「失点は決勝だけというのは悔しい。よく頑張ったと褒められた。身長162センチのしなやかなフォームから放つ直球は、コースきりどりに決まる。たぐい

回に打たれた本塁打が悔やまれる。準決勝で延長十回タイブレークまで投げた勝負が残っていた。水田は「悔しさはあるが、後々がしっかり守ってくれて安心して投げられた」と仲間感謝する。

エースの活躍に野手も応えた。決勝では二塁手・久保田が鋭い当たりを何度も好捕遊撃手・山元は大会無失点で終えた。岡本主将は「守備に自信があるチーム。最後まで勝ちを勝ち取った。できた」と振り返った。（今村浩太郎）

東部 6年生2人けん引



3回東部2死二塁、本村美の中前打で二走西矢が生還



鹿児島県ソフトボールスポーツ少年団
連絡協議会
50周年記念

チーム紹介

50th
anniversary



代表者	指 宿 忠 一	豊 田 将 暉 (5)
監督	指 宿 忠 一	鮎 川 慶 一 (6)
コーチ	豊 田 亮 三	西 間 庭 和 生 (6)
〃	龍 野 祐 治	満 重 晴 仁 (5)
主 将	中 村 咲 耶	井 手 大 器 (5)
		木 藤 輝 青 (5)
	内 山 航 大 (6)	大 道 遥 翔 (5)
	長 田 啓 佑 (5)	井 川 凱 翔 (5)
	中 村 咲 耶 (6)	上ノ園 想 (5)
	柏 木 陽 人 (6)	宮 脇 春 之 介 (5)
	郡 山 理 公 (6)	間 手 野 剛 宗 (5)

チームの目標

少年団活動を通して、心と体の成長を目指します。

大会50周年に思うこと

50周年という歴史を築き上げた各関係者に対し、感謝と敬意の気持ちでいっぱいです。

活動の現状と課題

子ども達が「強さとやさしさ」を持ち合わせることができるよう活動を行っていきます。

少年スポーツ指導に思うこと

やればできるという気持ちを持ち続けられるよう責任を持って見守ります。



代表者	馬 場 俊 文	藤 竹 愛 斗 (5)
監督	玉 利 友 則	堀之内 蒼 志 (5)
コーチ	堀之内 吉 人	有 元 遥 馬 (5)
〃	藤 竹 正 秀	吉 川 裕 真 (5)
主 将	坂 上 武 蔵	坂 上 武 槻 (4)
		新 入 公 仁 (4)
	有 元 颯 馬 (5)	有 元 あかり (4)
	坂 上 武 蔵 (6)	林 亜 門 (4)
	福 元 希乃花 (5)	高 田 陽 太 (4)
	小 園 大 輝 (5)	横 道 桃 巳 (4)
	福 元 康 心 (3)	小 園 祐 輝 (1)

チームの目標

県ちび初戦突破。

大会50周年に思うこと

第1回大会からの参加であり、継続参加を目標にしたい。

活動の現状と課題

団員の減少と平日練習の指導者確保。

少年スポーツ指導に思うこと

健全育成を目標に指導すること。



小学校名 鹿児島市立玉江小学校

指導者数 4名

団員数 10名

代表者	中 原 和 昭	三 本 竜 士 (5)
監督	中 原 和 昭	加 治 木 裕 里 (2)
コーチ	牧 政 希	松 元 敬 心 (2)
〃	松 元 勝 吾	白 澤 敦 己 (4)
主 将	加 治 木 裕 磨	辻 八 弘 (1)
		田 中 陽 (2)
	蔵 谷 春 (6)	山 元 朝 陽 (4)
	加 治 木 裕 磨 (6)	佐 東 治 樹 (2)
	園 田 知 歩 (6)	佐 東 実 侑 (5)
	牧 誠 剛 (6)	
	笠 置 大 瑛 (6)	

チームの目標

全員が全力を尽くす!

大会50周年に思うこと

大会を継続して開催して下さる関係者のみなさまに感謝いたします。

活動の現状と課題

現在団員数が少ないので、ひとりでも多くの仲間を作る活動に力を入れる。

少年スポーツ指導に思うこと

子どもたちが将来大きく羽ばたけるような環境をつくっていくことを心がけています。



小学校名 鹿児島市立伊敷小学校

指導者数 6名

団員数 20名

代表者	鳥 原 一 朗	川 野 陽 生 (5)
監督	小 田 原 英 樹	大 平 健 人 (4)
コーチ	前 迫 健 志	鈴 木 雄 大 (4)
〃	鳥 原 一 朗	床 次 初 琉 (4)
主 将	大 平 晟 義	新 地 隼 人 (4)
		鳥 原 一 翔 (3)
	久 保 田 瑛 大 (6)	久 保 田 陽 士 (3)
	大 平 晟 義 (6)	山 村 奏 人 (3)
	松 下 陽 (6)	石 元 愛 士 (3)
	喜 入 慧 凧 (6)	喜 入 静 春 (3)
	濱 園 未 来 (6)	床 次 来 斗 (2)
	大 田 康 士 朗 (5)	新 地 岳 人 (2)

チームの目標

初戦突破。

大会50周年に思うこと

素晴らしいこと。今後も輝かしい未来となるよう願います。

活動の現状と課題

団員の確保。円滑な運営。

少年スポーツ指導に思うこと

伝えることの難しさを痛感する。指導者側も日々精進することが大切。



代表者	中村元彦	増田 彪 (5)
監督	中村元彦	中野 貴月 (6)
コーチ	丸尾 俊	川路 悠太 (5)
//	椎原 佑弥	福崎 然 (5)
主将	柳田 瑛喜	岩切 優弥 (5)
		柳井谷 優馬 (3)
	柳田 瑛喜 (6)	
	山田 蹴斗 (5)	
	田原 凧人 (6)	
	橋口 詩央 (5)	
	村山 翔滝 (6)	

チームの目標

打て・走れ・燃えろ!!

大会50周年に思うこと

盛大に開催され、永久に続くように…。

活動の現状と課題

児童数減少に伴う団員確保。

少年スポーツ指導に思うこと

怒れず、叱れず、耐え忍ぶ日々。



代表者	元吉洋一	鬼丸 陽向 (3)
監督	元吉洋一	前田 武芳 (5)
コーチ	福元 淳一	坪井 壮太郎 (5)
//	福島 友広	池田 勇晴 (5)
主将	長野 奏海	和田 樹 (5)
		古閑 駈 (4)
	福島 歩 (5)	原田 琥宇 (4)
	長野 奏海 (5)	馬場口 琉生 (4)
	福里 瑛斗 (5)	久津輪 光将 (3)
	坂元 一咲 (3)	峰山 陽光 (5)

チームの目標

県ちびっこ大会優勝。

大会50周年に思うこと

長い歴史を感じると共に、未来へ継承することの大切さを感じます。

活動の現状と課題

団員減少の為、団員増員及び確保。

少年スポーツ指導に思うこと

ゼロからのスタートで、年々技術が向上し、人間性の成長を見ると喜びを感じる。